

道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和2年度 第27号
2020.12.16発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ しばらくご迷惑をおかけしました。 ◆◆

ご存じない方も多くいらっしゃると思いますが、校長の益田自身が、11月28日の早朝、急性肺炎にて救急搬送され、12月10日退院するまでの、約2週間入院しておりました。そして、14日月曜日より職場復帰することができました。しばらく無理をせず、体を慣らして行ければよいと考えております。入院しているときに、お手紙をいただいたり、面談をご希望される保護者の方がいらっしゃったりだったとの報告を受け、改めてお気持ちに伝えられなかったことお詫び申し上げます。

この時期、「体調不全」で入院と表現すると、コロナと思われる方も多いと思い、あえて症状名も正直にお伝えしました。もう少し遅れて発症していたら果たして入院できていたのかな？と、感じるところもあります。コロナウイルス感染症の拡大が収まる気配もなかなか見えません。より一層の注意と、感染対策の励行にお互い努めていきましょう。

◆◆ 1・2年生の遠足が無事終了いたしました。 ◆◆

27日（金）に、披露山公園までの遠足を無事行うことができました。前日の予想では、雨や寒さが予想され、決行できるか心配しましたが、朝の出勤時に学校に向かう際、「おや!?思ったほど寒くないぞと」実感し、雨雲もなさそうと天気予報から判断できましたので、決行のメールを配信させて頂きました。

実際遠足の最中は、時折太陽が顔をのぞかせて、心地よい暖かさを感じることもでき、子供たちは寒さに体力を奪われることなく、遠足を満喫してくれたようです。猿山を取り囲んで楽しんだり、ザリガニを捕まえたり、2年生が考えてくれた企画で楽しんだり、このコロナ禍において、地元で十分に楽しんでくれたことを嬉しく思います。



◆◆ 5年生の遠足、キッズニア東京も終了しました。 ◆◆



5年生の遠足は、12月4日（金）でした。この行事は、5年生キャンプの代替行事でもあり、5年生の励みになるような何とか実施したかった行事です。雨天によらず、安全な環境で実施できる施設として選んだのが、職業体験が楽しく経験できるキッズニア東京です。「参加団体のメンバーの中に、一人でも37.5度を超す人がいたら、団体全員が利用することができない」入場制限の厳しい施設であること、バス旅行のリスクは変わらないこと等を勘案し、保護者の方々のご意見も参考にさせて頂いての実施でした。最終的な参加の判断はご家庭に委ね、4名の児童の欠席がありましたが、施設を利用した学校が2校に減り、参加した児童は十分にキッズニアを楽しんで、大満足してくれたようです。この時期の実施でありながらも、行って良かったという行事になったことを大変嬉しく思いました。

◆◆ PTAクリーンキャンペーン ◆◆

11月21日（土）は、PTAクリーンキャンペーンを実施しました。総勢38名の参加を得て、両階段の清掃や、道路の掃除などに汗を流して頂きました。1時間程度の作業でしたが、皆さん協力し合って、とても気持ちのよい1日となりました。私も軽トラで土砂や枯れ葉等を運搬し、いい経験をいたしました。

土曜日にもかかわらず、学校の美化のために多くのPTAの皆様のご協力があり、大変嬉しく思いました。

3学期にも後1回あるとのことでしたが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



◆◆ 令和2年度 交通安全標語・地域安全標語 優秀作品に本校児童が選ばれました。 ◆◆

◎交通安全標語 小学校の部 最優秀
長柄小学校 3年 さん
「はいどうぞ やさしくゆずる まちのみち」

◎地域安全標語 小学校の部 優秀
長柄小学校 4年 さん
「どうしたの 声かけあって ひろがるわ」

お二人には、校長室で表彰させて頂きました。おめでとうございます。



◆◆ 長柄小児童は息切れすることもなく、無事2学期を全うすることができそうです。 ◆◆

2学期に息切れしないように、児童が飽きることのないような工夫も加えています。12月9日(水)には、全校で、たてわり出合いの会活動が、そして、12月初旬には、児童会集会「宝探し」が各学年ごとに楽しく実施されました。



◆◆ 授業研究にも熱が入っています。 ◆◆



長柄小学校は、来年度湘南三浦教育事務所管内の教育課程研究会という研究発表の場にて、「総合的な学習の時間」についての研究発表を行います。今年度はその研究の一環で、低学年の生活科、中・高学年の総合的な学習について、横浜市立永田台小学校長先生をお迎えして、本校での学びが「主体的対話的で深い学び」となっていくように教員一丸となって取り組んでいます。左の写真は12/7の研究全体会の1コマです。講師の校長先生が、的確な助言をしてくださり、大変意義深い研究となっています。

そして、地域との関わりをどんどん深めているのが3学年の総合的な学習の取り組みです。12/14には、3年2組において、クラスの保護者であり、慶応大学藤沢キャンパスにて教鞭を執られる先生をお迎えして、地元「マーロウ」さんのポスター作りについて、教えて頂きました。講演いただく前に、「大学生に教えるのも3年生に教えるのも同じじゃないかな。小学生から生まれ出されるアイデアが楽しみ」と語られていましたが、クリエイティブな映像と、大変わかりやすいキャッチコピーで、児童を引きつけ、関心意欲を高める授業を展開してくださいました。子供たちは闇雲にポスターに取り組むのではなく、ポスターとチラシとの違いに気づけたり、キャッチコピーと絵のマッチングに気づけたりと、大変深い学びを経験していました。先生にはもう1回ご指導いただくことになっております。次の授業も楽しみです。



さらに3年1組では、12/15 葉山町商工会会長

さんに再びご登壇願ひ、学びを深めました。本来なら葉山ステーションを訪問するはずでしたが、入場制限があり、訪問できないところを、十分に埋め合わせていただきました。全国1659商工会の中で、「葉山ステーション」が全国1位をとる快挙もお伝えいただく中、「夢は見るものではなく、実現するものと言いましたが、私の夢はまだ実現していません。この長柄地区に住む児童の皆さんが、住んでいて良かったと思える町にするまで、実現までの努力を続けます。」と語られる会長に、頭が垂れる思いでした。また、3年3組においても、「げんべい商店」さんを訪ねることができましたので、サンダル作りを見学させていただくなど学習を深め、その上で、「げんべい」さんに関する一人1作品以上のキャラクター作りが進んでおり、地元を素材とした深い学びがどんどん広がっています。児童が学びを通してどんな成果を上げていくか、大変楽しみです。

